

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 1日

事業所名 Grability Life

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--------------------------------|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 子どもたちが安全に楽しく活動できるように配慮している | 今後もより良い支援を目指し環境整備を進めていく |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 配置数が適切になるよう、勤務状況に応じてその都度考え、配置している | 今後も継続して行っていく |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | ○ | 施設が2階のため、対応が難しい | 施設は2階のため、入り口までは階段で上がる必要があるが、室内はフラットである |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | 毎月会議を開催し、日頃の支援を振り返り反省し、改善につながるよう話し合いの場を設けている | 今後も継続して行っていく |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | 現時点では行っていない | 現在は取り入れていないが、今後必要に応じて実施を検討していく |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 毎月、社内研修を行っている | 今後も研修・社内研修の機会を設け職員の資質の向上を行う |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | 利用に際して保護者面談を行い、子どもの状況・課題・保護者様のニーズなどを把握し、放課後等デイサービス計画を作成している | 今後も利用児童及びその保護者の立場に立って、より良い支援を行うように心掛けていく |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 聞き取りや行動観察により課題と目標を設定している | 今後も継続して行っていく |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 立案した活動プログラムをミーティングにて確認等し共有している | 今後も継続して行っていく |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | スタッフで検討している。子どもの発達年齢に沿った活動を工夫している | 今後も継続して行っていく |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | 長期休暇では、普段できない活動も取り入れている | 今後も継続して行っていく |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 日頃から情報を共有し、支援を行っている | 今後も継続して行っていく |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 毎日のミーティングで情報共有を行っている | 今後も継続して行っていく |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 適切に記録を残し、次の支援に繋げている | 今後も継続して行っていく |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | ○ | | | | |

| | | | | | | | |
|----------------------|----|---|---|---|--|-----------------|--------------------------------|
| 関係機関 や保護者との 連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | 必要に応じて、適切に対応している | 今後も継続して行っていく | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | | 現在該当する利用者はいないが、受け入れる場合体制を整える |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | できる限り、情報を得るように努めている | 今後も継続して行っていく | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 研修は受けていないが、必要機関と連絡はとっている | 今後も継続して行っていく | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | | 現在機会を設けていないが、今後必要に応じて実施を検討していく |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | ○ | | | 現時点では参加していない |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | LINE@や送迎時、電話等で様子については伝え保護者の思いや考えを聞き共通理解をしている | 今後も継続して行っていく | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | | | |
| 保護者への 説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時や問い合わせがあった時は丁寧に説明し、理解してもらっている | 今後も継続して行っていく | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 必要に応じて行っている | 今後も継続して行っていく | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | 現時点では行っていない | 希望がないため実施していない | |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 早めに対応できるように心がけている | 今後も継続して行っていく | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | ○ | | LINEで個別にお伝えしている | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | 十分注意し、管理している | 今後も継続して行っていく | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | 機会を設けていない | 今後必要に応じて検討していく | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|------------------------------------|-------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | 保護者へは契約時等に説明。職員へは入職時、研修時において周知している | 今後も継続して行っていく |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 社内研修を実施している | マニュアルを作成し、スタッフに周知徹底を図った |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | 社内研修を実施している | マニュアルを作成し、スタッフに周知徹底を図った |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | 利用開始時に聞き取りを行い対応している |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | |